

NPO 法人全国木材資源リサイクル協会連合会

平成22年度通常総会議事録

- 1 開催日 平成22年2月23日 13:30～14:30
- 2 開催場所 江東区亀戸文化センター カメリアプラザ大研修室
- 3 出席者 60人 (会員数 135社)

(1) 役員 (10)

理事長	彦坂武功
副理事長	鈴木 隆
副理事長	山口昭彦
副理事長	片岡重治
副理事長代理	谷 正剛
理事	中野 光
理事	石田謙治
専務理事	鈴木重芳
監事	矢嶋 明
監事	田中一正

欠席 理事 船越 登

(2) 会員

●北日本協会 (9)

いわき大王製紙(株)	資材部長	神代 滋
〃	資材課長	蛭田博之
(株)アメリカ屋	代表取締役	鈴木金一
(株)原田商店	代表取締役	原田新一郎
(有)グリーン総業	代表取締役	熊谷 勝
(有)スーパージャングル	代表取締役	原 正行
〃	営業課	吉田義邦
(株)県南チップ	代表取締役	宇佐美洋一
仙台環境開発(株)	専務取締役	桜井 慶

●関東協会 (20)

泉工業(株)	統括部長	酒木哲也
市川燃料チップ(株)	相談役	岡 信夫
〃	課長	小野和枝
王子木材緑化(株)	所長	伊原哲夫
品川開発(株)	環境事業部長代理	神田 勉
〃		藤田朗徳
西華産業(株)	課長	川部元祥
青南建設(株)	代表取締役	志賀隆蔵
東武環境センター(株)	営業部長	中平弘之
日本製紙木材(株)	リサイクル事業部長	近藤輝男
〃	シニア・マネージャー	小林 寛
フルハシ EPO(株)	所長	天野幹也
萬世リサイクルシステムズ(株)	専務取締役	石黒宏樹
	統括マネージャー	桑野 俊
木材開発(株)	東京営業所長	一瀬省三
(株)共同土木	専務取締役	岡林靖幸
(株)タケエイ	グループ長	田中徳彦
(株)チップ興業	専務取締役	彦坂裕一
(株)丸昭建設	リサイクル部長	金山敏弘
(株)丸昭建設	リサイクル部	金子正直

●東海協会 (2)

(株)中野町チップ		安間常雄
(有)松井工業	代表取締役	松井忠博

●近畿協会

●中四国協会 (1)

(有)モトヒロ	代表取締役	元廣千里
---------	-------	------

● 賛助会員（13）

日本製紙(株)	原料本部燃料部長	青山栄一
〃	課長	赤堀和夫
〃	担当課長	小田弘昭
日本繊維板工業会	業務部長	奈良義幸
日立建機(株)	営業統括部営業課長	鈴木英範
〃	営業	出口健作
富士鋼業(株)	東京支店 取締役支店長	片岡 忠
〃		宇田川
(株)荏原製作所		青山英明
(株)九州環境ネットワーク	木材部長	河野秀彦
(株)ファーストエスコ	シニア・マネージャー	日下田伸
(株)御池鐵工所	関東営業所長	松江秀彰
住友大阪セメント(株)	チームリーダー	水木康寛

● 事務局

北日本協会	伊藤 孝典
東海協会	木村 明博
連合会事務局長	弘山 知直
連合会事務員	椎津 まゆ美

● 連合会顧問

中川 和義

● 報道（2）

(株)日報アイ・ビー	小林徹也
環境新聞社	宮坂智博

4 審議事項

弘山事務局長の司会で議事が進行される。

(1) 開会の辞（連合会副理事長で中四国協会代表理事片岡重治氏）

本日は、年度末の御忙しい中多数のご出席を賜りありがとうございます。
皆様のご関心の高さを今日の出席者数で表していると思います。

昨今かなり景気も低迷しておりますが、今日出席の会員の皆さんをはじめユーザーの方々関係団体の方々と益々密接なる情報の交換等を行い来年に向かって事業の活性化を図って行きたい。

本日は第1号議案から第6議案まで厳しい予算案の提示や役員の改選等を盛り込んでいますので、皆さんの協力をお願いし、22年度総会を開催を宣言します。

(2) 理事長挨拶

ご紹介を頂きました彦坂でございます。

平成22年度の通常総会開催に当たり一言ご挨拶申し上げます。本日は、通常総会開催のご通知を申し上げたところ、大変お忙しい中多くの会員の皆様のご出席を賜りましてありがとうございます。

連合会もお陰様をもちまして、創設以来7年目を迎えることとなりました。この間会員の皆様や、ユーザーの皆様、関係団体の皆様のご協力やご支援により今日を迎えることが出来ましたこと、この席をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、リーマンショックに端を発し、100年に一度と言われる不況の波が押し寄せ、我々業界と致しましても資材の確保難等大変な一年でありました。

一刻も早い景気の回復を願うものであります。

一方、国におきましては、温室効果ガス25%の削減という大きな目標を掲げ、その内国内の削減量は、現在、政府内で調整中のようですが、今後、我々の事業活動にも影響を及ぼすこととなりますので、大いに注目しているところです。

いずれに致しましても、従来の化石資源から太陽光や風力に加えバイオマス資源の活用が大変重要な課題として取り組まなければなりません。

このため、国と致しましては、22年度予算で、温暖化防止対策の一環として森林の整備事業に取り組むとしております。

間伐材や林地残材の未利用資源の活用が促進されるなど大いに歓迎すべきことであります。

我々業界も国の事業に積極的に参加し、循環型社会の構築と温暖化防止に寄与して行くこととしております。

本日は、21年度事業の総括や22年度事業計画及び予算等6議案につき

まして、ご審議をお願いいたすこととして開催させていただきました。
具体につきましては、事務局から説明させますので、御審議方宜しくお願いいたします。

また、総会終了後は、「木材・木質バイオマスの利用拡大の現状と課題」について、林野庁木材利用課長さんとの意見交換会を予定しております。

我々業界の発展のためには大変重要なテーマでございますので、時間の許す限り是非意見交換会に参加願えればと願っております。

簡単ではございますが、開催に当たりご挨拶させていただきました。
ありがとうございました。

(3) 議長選出

定款 27 条に規定により正会員の中から彦坂理事長が議長に選出され議事が進行された。

(4) 議事録署名人

石田謙治理事、田中一正監事を議事録署名人に選出。

(5) 議事

議長の指名により鈴木専務理事が第 1 号議案から第 5 号議案まで一括で提案説明をする。

第 1 号議案・21 年度事業報告、第 2 号議案・21 年度収支決算については事務局が、監査結果については、田中一正監査役が 1 月 21 日の監査結果について報告し、承認された。

また、第 3 号議案 22 年度事業計画、第 4 号議案 22 年度収支予算については一部数字の記載ミスが指摘され、修正することで承認された。

さらに 5 号議案、役員の変更では、彦坂理事長が辞任し、鈴木 隆副理事長が理事長に、矢嶋 明監事が理事（副理事長）に、田中徳彦関東協会監事が監事にそれぞれ選出され、彦坂理事長は、名誉会長に就任することが満場一致で承認された。

以上により第 1 号議案から第 5 号議案までは可決承認された。

なお、第 6 号議案その他については特に議案が無いことから、事務局から既にリニューアルされたホームページの内容と今後の対応について及び

環境分析の紹介等についての説明があった。

(6) 閉会の辞（副理事長で東海協会会長山口昭彦氏）

長時間にわたり熱心な御審議誠にありがとうございました。

これをもちまして NPO 法人全国木材資源リサイクル協会連合会、平成 22 年度通常総会を閉会します。

以上をもって、22 年度通常総会は滞りなく終了となった。

5 新理事長就任挨拶

新理事長から就任の挨拶と今後連合会が取り組むべき課題についての基本方針が提示された。

大変な時代に理事長職という重責を受けることとなった。

連合会は、1992 年に設立され、既に 18 年を経過することになった。

2004 年に NPO 法人として認証を受け、その間、国においてバイオマス戦略が閣議決定され、協会が大きく動いた時期であった。

その後、エネルギー利用が固まる中、木材資源が大きな注目を浴びることになり現在に至っている。

最近の環境の流れは、循環型社会の形成、3R の確立が提唱され、現在は、温暖化対策が急務となっている。

このような状況の中連合会の活動は、会員の意見や指導を仰ぎ複合的・多面的に運営することが重要であると痛感している。

そこで、今後連合会の運営に関し、4 つの基本方針を掲げることとした。

1 展望

(ビジョン)

流れの早い業界であることからの確にニーズを察知し、これに即した将来像を構築する。

2 刺激（インセンティブ）

各地区の協会並びに協会会員とコミュニケーションを活発化させ、総合的提案型の事業連携を推進して行く。

これらが、次代に向けての法改正や新法の制定の提言にも繋がって行くことになると考えている。

また、今後は、品質がキーポイントとなると考えており、事業活動に刺激を与えるなどし良き方向に持ってゆきたい。

3 利点（メリット）

連合会が得た情報を会員や一般に対して、確実な形で伝達出来るシステムを構築して行く。

4 発展（エクスパンド）

今後連合会は、重要な位置を占めていくことになり、会員拡大を含め強固な組織形成をして行く必要がある。

現在、150余の会員で組織化されているが、多くの方が幅広く連合会の事業に参加出来ることが望ましいと考えている。


最後に、多年に渡り連合会事業にご尽力を頂いた彦坂理事長に厚く御礼申し上げ、加えて本日御参会の皆様や連合会会員各位の皆様方には今後の御隆盛を祈念するとともに益々の御支援をお願いしたい。

（議事録作成者 鈴木重芳 )


議事録署名

議事の内容を明確にするため議事録を作成し、議長及び議事録署名人が議事録確認後押印する。


平成 22 年度通常総会議事内容について承認する。

議長 彦坂 武功 
(平成 22 年 月 日)

議事録署名人

理事 石田 謙治 
(平成 22 年 月 日)

議事録署名人

監事 田中 一正 
(平成 22 年 月 日) 